英語 ENGLISH

企画の概要

学力格差の広がりが著しいと言われる英語ですが、生徒一人ひとりの理解度に合わせた学習量を確保することで、必ず成果が期待できる教科でもあります。ベーシック英文法では、使用単語の難易度に徹底的にこだわり、高校基礎レベルの単語で問題を構成しています。また、問題演習 (トレーニング) に入る直前に「単語チェック」コーナーを毎回収録し、単語の理解不足によって文法学習が中断しないよう配慮しました。中学英語と高校の英文法をつなぐトレーニング教材として最高の使いやすさを追求しています。

**ベーシック 英文法



▶レーニング・・・・・・・・・・

原則として1ページに大問2題を掲載。同一パターンの問題で運用練習を繰り返す方式となっています。書く作業を通じて基本構文を「身体化」。 可能な限り問題パターンが明示されていることもベーシック英文法の特長です。

.● 学習のポイント

「スタンダード」で定評のある、わかりやすい基本例文 と丁寧な解説を収録。

*・・● 単語チェック

トレーニングで使用される重要単語をあらかじめ明示することで意味をしっかり理解させます。これにより、生徒は文法事項、基本構文の習得に集中できます。

トレーニング	
和訳完成 《 現在・過去	
次の英文の動詞に注意して、全文の和訳を完成させなさい。	
(1) Mt. Fuji is the highest mountain in Japan.	
富士山は日本で(
(2) Mike usually goes to school by bike, but this morning	he walked to school.
マイクはいつもは自転車で学校に通っていますが、(
(3) The train arrives at the station at nine every day.	
電車は(
(4) I often visited Hokkaido when I was young.	
私は若いとき、(
(5) The earth goes round the sun.	
地球は(
(6) I'll come as soon as I'm ready.	
() 参りまっ
(7) We'll go on a picnic if it is fine tomorrow.	
私たちは(), ピクニックに行きます
(8) What time does the concert end this evening?	
コンサートは今夜(
(9) A right angle has ninety degrees.	
直角は(
(10) The United States of America was once part of the Br	ritish Empire.
アメリカ合衆国は(
適語補充 《 現在・過去	
次の日本文に合うように、()に適語を入れ、英文を完成し	しなさい。
京都には多くの有名なお寺や神社があります。	
Kyoto () a lot of () temples and shrin	es.
(2) 太陽は東から昇り、西に沈みます。	
The sun () in the east, and () in the v	vest.
(3) コロンブスが 1492 年にアメリカを発見した。	
Columbus () America () 1492.	
(4) 私は昨夜夕食の後でコーヒーを2杯飲みました。	
I () two () of coffee after dinner last i	night.
(5) 月は地球の周りを約4週間で回ります。	
The moon () () the earth in about for	ır weeks.
(6) 私は若いときは、毎週海に泳ぎに行きました。	
When I was young, I () () in the sea e	every week.
(7) あなたは昨年、休暇にどのくらいお金を使いましたか。	
How () did you () on your vacation la	st year?
(8) それらの芝居の中でどれが一番よかったですか。	
Which of those plays () you () the beau	st?
	2



● まとめの問題 ・・・・・・・・・・・・・・・

トレーニングで個別に扱ってきた問題パターンを組み合 わせた複合問題を演習することで、表現・用法の理解 を深めます。気づきにくい文法事項の細かな違い、気 をつけるべきポイント、落とし穴を意識化し、弱点を克 服できます。

******ベーシック 英語長文

第3講 >>> 時 制(1)

1 次の英文を読んで、下の各問いに答えなさい。

When he was a young man, he was $_{\bigcirc}(\text{work})$ in Texas. $_{\bigcirc}\text{The company sent}$ Father there to open a new mine. The mine was in a hill in Texas. It was sixty miles to the nearest city. The life there was difficult. Mother didn't go with Father. She stayed at home in Chicago. The company $_{\bigcirc}(\text{say})$ that Father would not have to stay more than a few menths. $_{\bigcirc}\text{The work was going well.}$ He and Mother $_{\bigcirc}(\text{write})$ letters to each other. It was difficult for letters to reach Father. The mail arrived there once a week. At that time, about forty years ago, there was no railroad. There were few roads. Phone lines with the state of the property of the didn't reach there then.

One night $_{\textcircled{i}}$ ready / bed / was / Father / getting / for). It was raining a little. The wind $_{\textcircled{i}}$ blew so strong. Father $_{\textcircled{i}}$ (go) out and looked around the mine. The wind was blowing harder and harder. Suddenly something hit his eye. The pain was very strong. He rubbed his eye. The pain continued. Tears came to his eves

(1) ①, ③, ⑤, ⑧の動詞を適切な形に直しなさい。

(2) 下線部②を和訳しなさい。その際、there を具体的にすること。

(3) 下線部(7を知即1 たさい

(4) ⑥の()内の語を、「父は容る準備をしていました」という意味になるように並べかえなさい。

(5) 下線部⑦の動詞の原形と意味を書きなさい。

(6) 約40年前のテキサスはどんな様子でしたか。日本語で説明しなさい。

■WOVGS ■ mining engineer「鉱山技師」 Texas「テキサス州」 company「会社」 Chicago「シカゴ」 amining engineer [main(main feath / マットリー・ファット] a few [2,30] each other [毎度い] It is - for - to ... [一にとって一することはつである] railroad [鉄道] few [ほとんどーない] pain [痛み] rubbed < rub [こする] (1) この話がいつのことなのかを考えると比較的簡単にわかるはず。

ヒント

(2) to以下は目的を表す副詞(的)用法の不定詞。(4) 「~する準備をする」という連語を考える。

(6) 2段落目の最後、about forty years ago 以下の文をまとめるとよい。

6

※ベーシック英文法の「学習のポイント」は、スタン ダード英語Ⅰ、Ⅱの「基礎学習」と同内容です。

※ベーシック英語長文の問題は、スタンダード英語 Ⅰ、Ⅱの「総合問題」と同内容です。

※ベーシック英文法の「トレーニング」は、精選ト レーニング英文法の問題と同内容です。

適語選択 《 現在・過去の区別〕 次の()内から適する語(句)を選び, ○をつけなさい。 (1) Tom and Jim (do. does. did) their homework in the library after school every day (3) Fish (breath breathe breathes breathed) through gills in water (4) Kyoto and Nara (have, has, had) many famous temples and shrines (5) My brother threw the ball and (break, breaks, broke) the window (6) The sky (get. gets. got) darker and darker as night came on. (8) We (hear, hears, heard) sound with our ears. (9) People (have, has, had) five senses: sight, smell, touch, taste, hearing >書き換え 《現在・過去・未来・進行形の区別 ② 次の文を()内の語(句)を用い、〈 〉の指示に従って書き換えなさい。 □1) Mary does this work. (tomorrow) ⟨will を用いた未来形の文に⟩ □(3) She read these books. (last week) 〈疑問文に〉

□(4) Mary has a party. (next Saturday) ⟨be going to を用い未来形の文に⟩

□(6) Mary and I watch a soccer game on TV. (at that time) 〈進行形の否定文に、

□(5) He goes to school by bus. (always) 〈疑問文に〉

□(7) My father lies on the beach. (all day) 〈過去形の文に〉

「(8) Kenii plays soccer with his friend. (vesterday) (否定文に)

•● 瀋習問題

26

まとめの問題

200語前後の英文を、ベーシック英文法のカリ キュラムに沿って配列。文法学習の流れに即して 進められる高校入門レベルの読解テキストです。

運用例(1コマ110分)



※その他の運用例

- 確認テストは、「前回の復習」としてではなく、当日 の授業の最後に使用する。
- * 学習のポイントの中に単語チェックを含む。
- *上記は英文法の運用例です。

MATHEMATICS

企画の概要

新学習指導要領の実施に伴い、高校教科書での取り扱い内容が難化した数学では、学力格差のさ らなる広がりが懸念されています。これに対応するため、大学受験を目指す生徒向けの基礎学力 定着型教材としてベーシックの数学を新発売。復習→基本公式→例題・問題演習→実践問題演習 という基礎基本の定着に最も有効なフローを採用しています。教科書内容への理解を深め、高校 数学の基礎知識習得に最適の教材です。集団授業での使用はもちろんのこと、個別指導や自習に もご使用いただける教材です。

**ベーシック 数学 I、A、II、B

ウォーミングアップ 1 次の計算をせよ。 (1) $2r^2 \times (-5r)$ (2) $ab \times (-ab^2)$ $(3) (-3x)^2$ (4) $(2x)^2 \times 5x$ (5) $x^2 \div 3x$ (6) 6a²b÷2a $(8) \quad (-x^2y) \div 5x \div (-2y)$ (7) $2a \times (-4a) \div 3a$ 2 次の計算をせよ。 (1) $(3a-2h) \times 2a$ (2) (2a+5h)×3c (3) $3x \times (40-2b)$ (4) $(2x^2y+4xy^2) \div xy$ (6) $\left(\frac{4}{3}x^2y - \frac{3}{5}x^3y\right) \div \frac{3}{2}y$ (5) $\left(\frac{1}{3}x^2y^4 + \frac{1}{2}x^3y^2\right)$ 3 次の式を因数分解せよ。 (2) $2x^2 + xy$ (1) ax-4a 4 次の式を因数分解せ上。 (2) x²+7x-8 (1) x^2-6x+8 (3) $x^2 - 5x + 6$ 5 次の各組の数の大小を,不等号を使って表せ。 √3, √5 (2) 3, √5 (3) $-\sqrt{8}$, $-\sqrt{12}$ (4) -4, $-\sqrt{7}$ (1) $\sqrt{3} \times \sqrt{5}$ (2) $\sqrt{5} \times \sqrt{11}$ (4) $\sqrt{5} \times \sqrt{18}$ (3) $\sqrt{8} \times \sqrt{2}$ (6) √65÷√5 (5) √27÷√3

新出単元の基本概念や公式をまとめた要点整理の コーナーです。穴埋め形式になっているので、ただ 流し読みをするのではなく、思考の過程や公式への 理解を意識化し、深めることができます。

┫・・・・● ウォーミングアップ

学習する内容の前提として理解しておきたい知識事項 などを復習するページです。学習内容に応じて適宜、 コーナーを設けました。振り返り学習をすることで、新 出内容へのスムーズな橋渡しを実現します。

Basic	
第┃講 >>> 式の計算	
学習のポイント	
■	 → 文字式の次数と係数 ーセディで文字ッに着目すると
※ 整式A、Bの加法はA+Bの同類用をまとめる。減法A-BではA+(-B)を計算する。AにBの各項の符号を要えた式を加える。	point 同類限をまどめる仕組み $ma+na=(m+n)a$ $ma-na=(m-n)a$
解答 ○ 5 ○ -4 ○ 3 ○ -4y ² ○ 項 ○ 3 ○ B ○ 5x ² -5x+2 ○ x ² -3x+8 4	8



講の中での最終目標となる重要例題です。到達目標を 提示することで、生徒のやる気をアップさせます。また、 穴埋め問題となっているので、「ヒント」を見ながら自 力で解くことができます。

ターゲットの習得に至るまでのステップとなる問題です。 徐々に難易度が上がっていくので、どこの段階でつまず いたのかが明確にわかります。同じ種類の問題を何度 も練習することで、学力の定着を図ります。

まとめの問題 7 次の式の同類項をすとめて簡単にせよ。 (2) $x^2+2xy+2y^2-3xy-y^2$ (1) $x^2-x-3+4x-1$ 次の多項式をxについて降べきの順に整理せよ。 ■ A. Bが次のように与えられているとき、A+B、A-Bを求めよ。 (1) $A = 2x^2 + 5x - 3$, $B = 3x^2 - x + 5$ (2) $A = 4 + 3x^2 - x$, $B = 2x - 3x^2 - 4$ (3) $A = 3x^3 + 5x^2 - 3x + 2$, $B = 2x^3 - 3x^2 + 5x + 6$ (4) $A=3+4x^2-x+3x^3$, $B=2x^2+x-4x^3+5$ (5) $A = r^3 - 5r^2 + 4r - 7$, $B = 3r^2 - r + 8$ (6) $A=x^2+3x^3+2x+3$, $B=5x-4x^3+2$ (8) A=5(2x-3y), B=3(-3x+4y)(9) $A = \frac{x^2}{2} - \frac{xy}{4} + \frac{y^2}{3}$, $B = \frac{x^2}{6} + \frac{xy}{3} - \frac{y^2}{6}$ (10) $A = \frac{3x - 5y}{4}$, $B = \frac{4x - 3y}{3}$ (11) $A = 2x^2 - 4x + \sqrt{3}$, $B = \sqrt{3}x^2 + 8x - 2\sqrt{3}$ (12) $A = 2\sqrt{5} - 4x^2 + \sqrt{3}x$, $B = 3\sqrt{3}x - 7x^2 + 4$ (1) $A = -3x^2 + 4x - 5$, $B = 4x^2 - 3x + 7$, $C = 2x^2 + 5x - 3$ のとき、-A + 2B + C を求めよ。 (2) A=x²-3xy+y², B=-x²+2xy-2y², C=x²-3xy-3y²のとき, A-2B+Cを求めよ。 (1) A=x²-2x+3,B=-x²-5x+7,C=-x+3+x²のとき,次のものを求めよ。 ① A+B ② A−C ③ A−(2B−C) (4) A − {B−(2A+B)+C} (2) A=2x²-3xy+y², B=2xy-x²+3y², C=-2y²+5x²+3xy とするとき、次のものを求めよ。 ① A+B+C ② 2A-B+3C (3) $2B-C+\frac{1}{2}A$ (4) -3(A-2B+4C)+2(2A-3B+C)

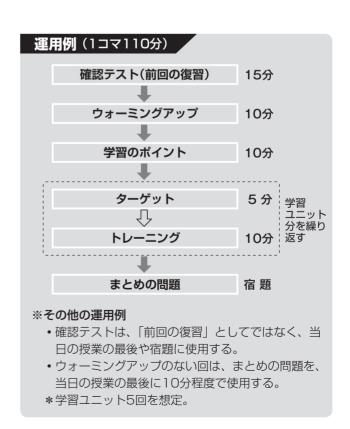
※ベーシック数学の「学習のポイント」「ターゲット」は、スタンダード数学の「基礎学習」「例題」と同内容です。

※ベーシック数学の「トレーニング」は、精選トレーニングの問題と同内容です。

J	
□(2) x ³	\Box (3) $-2ab^3$
とき, 次数と係数を求めよ。 □② x	□③ y
ことき、次数と系数を求めよ。	
□② a 1したとき,次数と係数を求めよ。	□3 a, b
□② x	□③ a
$\square 2$) $2x^3 - 3x^2 + 2x$	□(3) 4ab−5a+b−1
	上係数を言え。

●まとめの問題

トレーニングやターゲットで学んだ知識がきちんと身についたかを確認するページです。融合問題を解くことで実践力を強化します。



JAPANESE

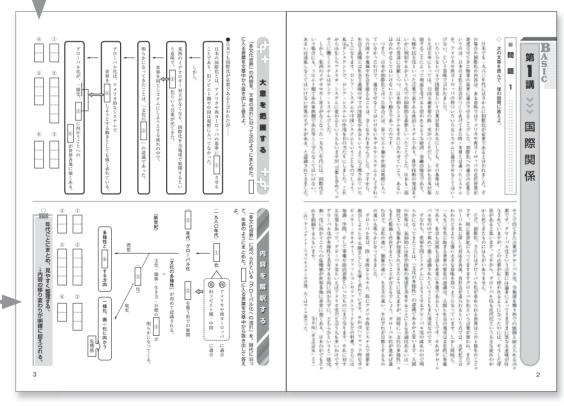
企画の概要

基礎・基本事項を習得することを重視したベーシックの国語。現代文では、文章の内容理解を徹底すべく、一つの文章を内容理解のために1回、問題を解くためにさらに1回扱うという、高校用国語教材としては非常にユニークな構成になっています。また、カリキュラムは大学受験を意識した文章分野別の編成で、高校教科書でよく目にする作家、大学入試頻出の作家の文章にじっくり取り組めます。中学までと比べ知識量や難易度が格段にアップする高校の古典では、中学の学習内容と高校の学習内容のギャップに戸惑い苦手意識を持つ生徒が少なくありません。これを踏まえてベーシックの古典では、一つの講の中でコーナー間の難易度差を抑え、少しずつステップアップできるように配慮。カリキュラム構成においては、適宜復習講を設けることでスパイラル式に知識の学び直しができるようになっています。

**ベーシック 現代文

●大意を把握する

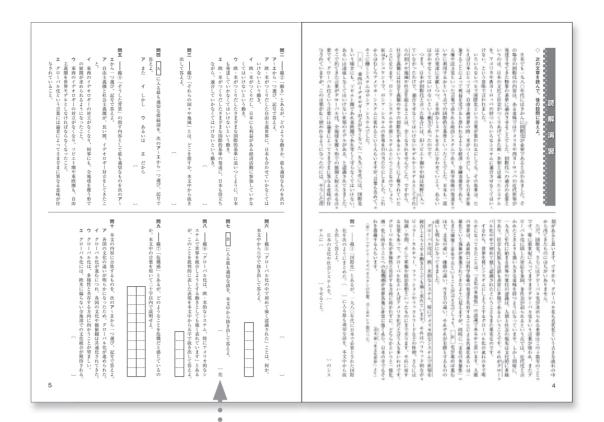
文章を読んだ後で、まず、結論に向かう文章全体の流れをつかみます。文章を大まかな枠組みでとらえ、あらすじを確認します。細かいところに踏み込む前に、大枠を理解しておくようにします。



●内容を解釈する

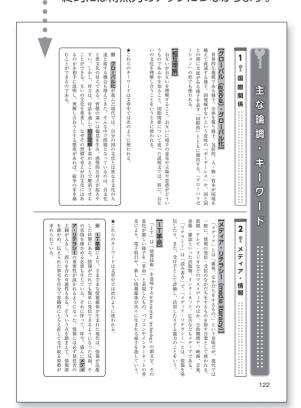
文章内容の理解を深めるために、内容をある一面から捉え直 し、分解し並べ替えて図式化します。あらすじを捉えることか ら一歩進んだ作業です。文字を並べるのではなく、一目見て わかるように図式化することが理解の早道です。内容の「咀 嚼」を行うことで、読解力・思考力を高めます。 「大意を把握する」「内容を解釈する」の二つの 作業を通して、まずは文章内容をしっかりと理 解します。このコーナーで扱っている内容は、 通常の読解問題でも出題されやすいものとなっ ています。





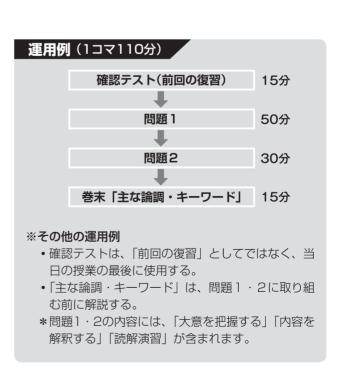
主な論調・キーワード

各分野の文章でよく出てくるキーワードを 説明しつつ、その分野の主な論調、よく問 われることを紹介します。文章の背景に関 する知識があれば、理解もより深まり、最 終的には得点力のアップにつながります。



読解演習

最初の見開きと同じ文章・同じ引用箇所で、通常の読解演習を行います。「大意を把握する」と「内容を解釈する」で扱った内容をあえて出題。理解が深まっている分、解答しやすくなっています。読解問題はまず文章の内容理解から始まることを意識づけ、「自分にもできた」という達成感を生徒に与えることで、次の学習につなげます。



国 語 JAPANESE

***ベーシック 古典

(大り) は体質にの必能終する。 [意味] (カリ は体質にの必能終する。 (意味) ・デアル (「	第10 第 10 第 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10
新報: (との) (たり) の、諸用形と支法的意味を含えた。 新子、 和大、 作さて使みるまに立ちたけり。 一	(2) 次の文の自縁部 「かり」について、活用用を含みよう。 (3) 次の文の自縁部 「かり」について、活用用を含みよう。 (4) かみ天のを振ったいとのなり。 (5) かみ天のを振ったいとのなり。 (6) かみ天のを振ったいとのなり。 (7) かみ天のを振ったいとのなり。 (8) 第二	10 次の天のの横回、空にく面を含えた。 10 次の天のの横回、空にく面を含えた。 2 次の天のの横回、空にく面を含えた。 2 次の天のの横回の下を向したのは、大きにの様との下で、大きの形式と称きるよう。 2 次の文の传播部の「なら」について、文法の意味を参えた。 2 次の文の传播部の「なら」について、文法の意味を参えた。 3 次の文の代表で表示である。 3 次の文の代表で表示でいる。 3 次の文の代表で表示でいる。 3 次の文の代表で表示でいる。 4 次の文の代表で表示でいる。 4 次の文の代表で表示でいる。 5 次の文の代表で表示でいる。 5 次の文の代表がよっている。 5 次の文の代表がよっている。 5 次の文の代表がよっている。 5 次の文の代表がよっている。 5 次の文の代表がよっている。 5 次の文の代表がよっている。 5 次の文の代表が表示である。 5 次の文の代表が表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表

●学習のポイント

図や表が数多く取り入れられているので、複雑な文法事項を一つひとつ整理 しておさえることができます。

●確認問題

下段に掲載されている確認問題は、学習のポイントを見れば解けるレベルになっており、問題を解きながら基礎・基本 事項を習得することができます。知識のインプットとアウト プットを効率よく進められるレイアウトになっています。

学習のポイントや確認問題で学んだ文法事項について、易しめの問題から標準的なレベルの問題までを解くコーナーです。確認問題との難易度差が拡がり過ぎないように問題のレベルが調整されているので、無理なく知識の定着を図ることができます。

(3) 仏はいかかなる物にか飲みららん。	(2) 古野なる意実の川の川4とに贈ぐ鳴くなる山路にして (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	次の文中の特職部の動動詞について、ここでの活用形と文法的意味を答え よ。 力ときは心も呼るたつ物は、春のけしるにこそあめれ。	(4) よろづのことは、月見るにこそ雖む物なれ。	③ 清盛公、いまだ安然守たりし時、	(2) (光源氏が)のぞき給へば、 (尼荘が) 離すこし上げて、(仏に) 花たてまつるめり。	次の文中から、(伝明・推定)の助動詞「なり」(接定・範囲)の助動詞「なり」を、そのままの形で扱き出し、文法の意味を含また。 (1) 我のステ衣はは清でく思くればが辺の方に、組の音すなり	基本問題
	(4) いでや、この他に撃れ出では、駆はしかるべきことごを参かめれ、 現代譲越 さて、この他に生れ出たからには、そうなってほしいと思う ことが	(3) 「奥山に編またといふ物、人を残らみなり」と入の言ひけるに、 現仏画記 美山に、編またというもの(おいて)、人を し と人がおったところ。	② 信濃なら浅間の謎にたつ様をもこち人の見やはとがめお (例だらうかと) あやしまずにいられようか (例だろうかと) あやしまずにいられようか		現代組営、少しのことにも奉いてくれる人はいてはしいこと 現代組営、少しのことにも奉いてくれる人はいてはしいこと	(5) は、かたらつが生れてきたらか、	(4) 男もすなる日記といふものを欠もしてみむ、とて、するなり。 48



4	
演習問題	
次の文章を読んで、後の間に答えよ。	れ後のア〜エの中から一つ選び、配号で答えよ。れ後のア〜エの中から一つ選び、配号で答えよ。
七月十五日の月に出でゐて、せちに物思へる気色なり。近く使はるる	(1) わりなし
人々、竹取の翁に告げていはく、「かぐや姫の、例も月をあはれがり給へ	なほわりなく恋しうのみおぼえければ、(『伊勢物語』)
とも、このころとなりでは、たたことにも何らさがり、いみじくまにしゅ	「そはり」「選しくにかり思えれたので」
に言ふやう、「なんでう心地すれば、かく物を思ひたるさまにて、月を見っ	
たまふぞ。うましき世に」と言ふ。かぐや姫、「見れば、世間心ほぞくあ	(2) をかし
はれに待る。なでう、物をか嘆き待るべき」と言ふ。	月の夜はねやのうちながらも思へるこそ、いとたのもしう、をかしけれ。
かぐや姫のある所に至りて見れば、なを物思へる気色なり。これを見て、	(『徒然草』)
「あが仏、何事思ひたまふぞ。おぼすらんこと、何事ぞ」と言へば、「思ふ	〔(秋の) 月夜には寝所にいながらも(月を)思っているのが、とても期待で
こともなし。物なむ心はそくおはゆる」と言へば、翁、「月な見給ひそ。』	(°)
これを見給へば、物おはす気色はあるぞ」と言へば、「いかで、月を見で	ア 立派だ イ 笑いそうだ
はあらん」とて、猶、月出づれば、出であつつ嘆き思へり。夕やみには、	ウ 趣深い エ 変だ
物思はぬ気色なり。月の程になりぬれば、猶、時々はうち嘆きなどす。こ	(3) あからさまなり
れを、使ふものども、「なを、物おはす事あるべし」とささやけど、親を	あからさまに物へ行くとても、など言ひ置ければ、(『宇治拾遺物語』)
はじめて、何ごととも知らず。	しどこかへ行
	フリウカに イ 賃付に
間一 傍線部①・②の助動詞の、ここでの活用形と文法的意味を答えよ。	ウ ひそかに エ ちょっと
•	世界のをのこ、あでなるもいやしまも、(『竹取物語』)
	〔世の中の男は、
間二 液線部aについて、次の現代語訳の空棚に入る語を答えよ。	ア 頼りになる イ 下品な
現代語訳 普通では ございます。	ウ 珍しい エ 身分が高い
	乳砂亡くなりし折ぞかしとのみあはれなるに、。(『更級日記』) あはれなり
間三 波線部b「嘆き思へり」の主語を本文から抜き出して答えよ。	〔乳母が亡くなった頃であるよとばかり思われて [
_	ア しみじみと悲しい イ 気の毒だ
	- ウ かわいい エ 感心だ - 49

◆・・・・● 演習問題

易しめの文章を通して「基本問題」レベルの問題を解くコーナーです。 文法問題を中心としつつ、適宜、内容解釈に関する問題も扱われてい るので、文法の知識を読解に結びつける力を養うことができます。

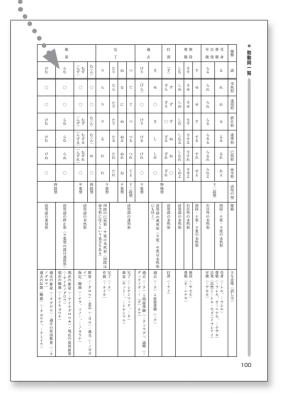
● 重要古語チェック

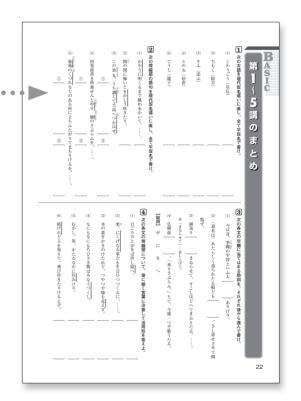
大学入試の古典を読みこなせるようになるには、文法力だけではなく 語彙力、つまり古文単語に関する知識を積み重ねておく必要がありま す。これを踏まえ、各講に古文単語の意味を確認するコーナーを掲 載。また、単なる暗記作業に陥らないように、例文と現代語訳を掲載 し、古語の意味を文脈から類推して解くという設問形式になっていま す。漢文の講では、基本句形を扱っています。

本教材には、数講に一度、それまでの内容を復習するページが設けられています。一度学んだ文法事項を重ね塗りのようにして復習することで、盤石の文法力を身につけることができます。また、その講までの「重要古語チェック」で扱った古語の復習問題も掲載されています。

文語文法要覧

「力変の連体形は?」「この助動詞の接続、何だっけ?」…。そんなとき、文法事項を手早く確認できるよう「文語文法要覧」を巻末に掲載。主要項目(動詞・形容詞・形容動詞・助詞・助動詞・敬語)が網羅されています。





運用例 (1コマ110分) 確認テスト(前回の復習) 学習のポイント・確認問題 基本問題 25分 基本問題 15分 重要古語チェック 10分 ※その他の運用例 ・確認テストは、「前回の復習」としてではなく、当日の授業の最後に実施する。